

報告事項(1) 西三川砂金山跡旧金子勘三郎家住宅の保存整備について

◎令和3年度工事（主屋）

○実施予定内容：組立工事（床組、軸組、小屋組等）、屋根工事（茅葺）等

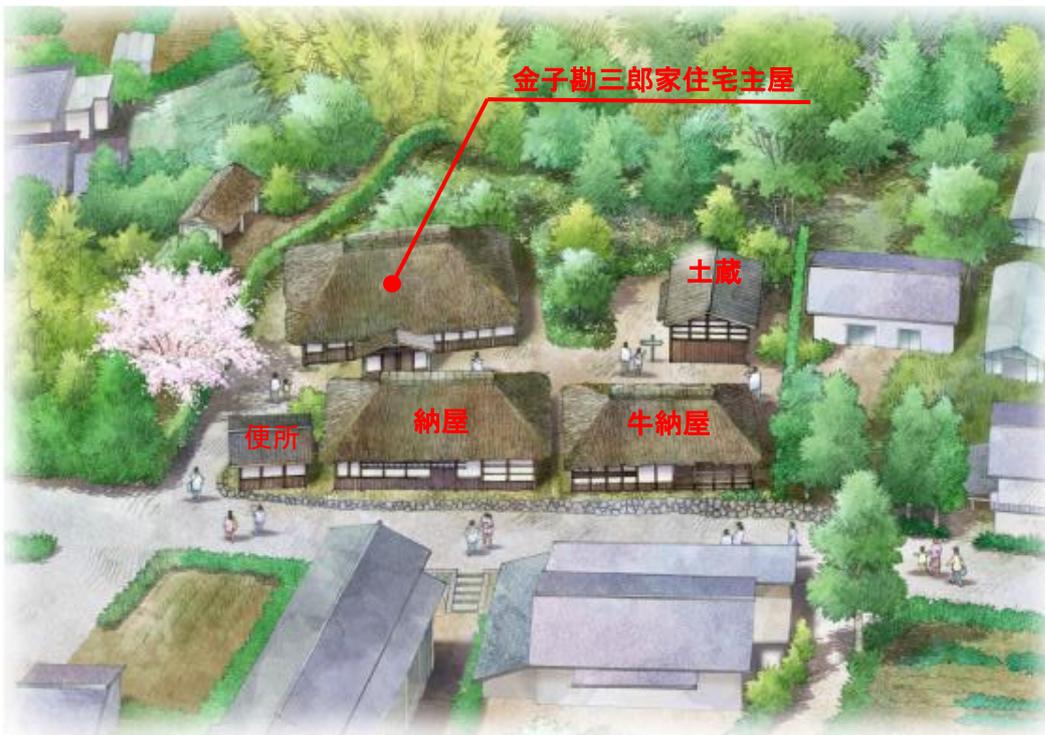
◎令和4年度工事（主屋）

○実施予定内容：内外装工事（外壁、内壁、仕上げ等）、電気設備工事（照明器具、自動火災報知設備等）、外構工事（排水路）等 ※工事完了後、建物公開予定

◎主屋と他4棟工事の予定工程表 ※工事が完了次第、随時、建物を公開する予定。

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
主屋	※3年間を予定								
牛納屋		※令和3年度に一部工事を前倒し予定。後、令和5年度以降2年間を予定							
土蔵						※2年間を予定			
便所						※2年間を予定			
納屋								※2年間を予定	

◎修理後のイメージ ※史跡佐渡金銀山遺跡整備基本計画より抜粋



報告事項 (1) 西三川砂金山跡旧金子勘三郎家住宅の保存整備について

◎令和3年度 史跡佐渡金銀山遺跡金子勘三郎家の発掘調査計画について

1 金子勘三郎家の概要

金子勘三郎家は、江戸時代後期に佐渡奉行所から派遣された西三川金山役と集落との橋渡しを行い、代々名主（重世話煎）を務めた金子家の住宅である。現存する建物は、江戸時代後期から明治時代に建築された木造の主屋・納屋・牛納屋・土蔵・便所の5棟である。金子家の位置する笹川集落は、西三川砂金山閉山後の明治5年以降は、主な生業を砂金山採掘から農林業に転換したが、この際も金子家が主導的な役割を果たした。

金子勘三郎家を含む笹川集落周辺は、平成23年9月に重要文化的景観「佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観」に選定され、平成27年10月には、史跡佐渡金銀山遺跡に追加指定されている。

金子勘三郎家は老朽化が著しいことから、平成30年度から主屋の保存修理工事に着手し、現在も工事を継続中である。今後は、主屋以外の4棟についても順次保存修理工事を実施する予定であり、修理完了後は段階的に建物を公開し、西三川砂金山遺跡の生業や生活について解説する展示を行うとともに、史跡や重要文化的景観エリアを散策する拠点施設として活用する予定である。

2 金子勘三郎家の調査履歴等

平成21年度	金子勘三郎家住宅保存調査
平成23年9月	重要文化的景観 佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観
平成27年10月	史跡 佐渡金銀山遺跡へ追加指定（西三川砂金山跡）
平成30年度	主屋部分解体調査
令和2年度	主屋保存修理工事に伴う床下塵芥・土砂除去及び分布調査（120 m ² ）

3 令和3年度の発掘調査予定（別紙参照）※令和3年5～6月に実施予定

主屋の南側及び東側斜面に築かれた石垣の足下を確認するとともに、埋没した地下遺構（雨落ち溝、増築部の礎石等）の有無を把握するため、確認調査を実施する。

4 令和4～7年度の発掘調査予定（別紙参照）

牛納屋、納屋、土蔵、便所の周辺敷地において、埋没した地下遺構の有無を把握するため、順次確認調査を実施する。

5 調査体制

佐渡市教育委員会が調査主体となり、調査を行う。調査にあたり、佐渡市が所掌する佐渡金銀山遺跡保存整備に関する専門家会議において専門家の調査指導を受けるほか、適宜新潟県教育庁文化行政課及び文化庁の指導を受けながら調査を進める。